

平成28年度地域福祉活動計画評価

基本目標1 地域で活躍できる人づくり

事業名及び評価項目	年次計画					事業の推進状況			評価			
	H26	H27	H28	H29	H30	H28	達成/未達		完了	継続	見直し	廃止
重点目標① 地域福祉を推進する人材の育成												
展開方針① 学び合いの機会をつくり、福祉教育の推進を図ります。												
学童・生徒のボランティア活動普及事業												
協力校数	10	10	10	10	10	10	達成	市内の小・中・高校、教育委員会との連携により、ボランティア協力校に指定した。平成27年度に3年間の指定期間が終了し、平成28年度から平成30年度までの3年間新たに10校指定した。		○		
福祉出前講座												
福祉出前講座実施回数	25	28	30	33	35	30	達成	教育委員会やボランティア団体等と連携し事業推進に努めた。		○		
ボランティア育成												
ボランティアセンター個人登録者数	15	20	25	30	35	27	達成	ボランティアセンター及びボランティア団体の活動を広報することによりセンターへの登録を促進した。個人登録は、目標を達成したが、団体登録は目標達成には至らなかった。今後は、広報紙等による周知の充実を図っていく。		○		
ボランティアセンター団体登録数	100	102	104	106	108	93	未達			○		
研修会・養成講座等の開催							→	年1回の研修会を開催した。		○		
ふれあい福祉講座												
参加者数(福祉委員)	200	225	250	275	300	127	未達	各地区社会福祉協議会の先進事例の発表を行い、地域福祉活動の活性化に努めたが、目標達成には至らなかった。今後は、多くの方々に福祉委員活動に関心を持っていただくために、広報紙等による周知の充実を図っていく。		○		
参加者数(全体)	700	725	750	775	800	650	未達			○		
健康福祉のつどい												
事業実施							→	健康・長寿をテーマに、健康意識の高揚を図るため市との共催により開催した。		○		
重点目標② ボランティア活動の活性化												
展開方針② ボランティアが活動しやすい環境をつくります。												
福祉・ボランティア団体等活動支援												
個人ボランティアへの保険料の助成	検討						→	助成制度を検討し、個人ボランティアを運用するために、募集強化の広報活動を行ったが、制度設計まで至らなかった。		○		
ボランティア連絡会の開催							→	ボランティア種別ごとの会議を開催したが、市全体の連絡会の開催には至らなかった。引き続きボランティア種別ごとの会議の充実を図り、連絡会開催に向けた基盤整備を行っていく。		○		
夏のボランティア体験事業												
参加者数	225	220	235	245	250	216	未達	学校や教育委員会等との連携強化に努め、事業推進を図ったが、目標達成に至らなかった。引き続き学校等と連携しボランティア活動を含む福祉教育を推進し意識の高揚を図って行く。		○		

事業名及び評価項目	年次計画					事業の推進状況			評価			
	H26	H27	H28	H29	H30	H28	達成/未達		完了	継続	見直し	廃止
重点目標③ 福祉関係団体の支援												
展開方針③ 団体の主体性による運営の定着化を図ります。												
老人クラブ活動支援												
事務の簡素化・効率化と自主運営の確立		準備			→	—	—	平成28年度から各地域ごとに事務局の位置づけを行った。引き続き、円滑に自主運営ができるよう支援を続けて行く。		○		
人材育成					→	—	—	各種研修会に参加したり、各地域ごとに会員増強運動を実施するなどし人材育成に努めた。		○		
重点目標④ 生涯地域で活躍できる社会参加の支援												
展開方針④ 高齢者の豊かな知識・経験・技能を活かした社会参加を促進します。												
高梁市シルバー人材センター事業												
会員数	297	300	300	300	305	271	未達	広報紙を通じて会員募集を行い、新規登録があったものの、既存会員の高齢化等による退会から目標達成には至らなかった。受注件数、就労人員についても広報に努めたが目標達成には至らなかった。引き続き、広報紙等での周知を行い、事業の充実に努めていく。		○		
延受注件数	1,870	1,880	1,880	1,880	1,900	1,831	未達			○		
延就労人数	17,850	18,970	19,090	19,210	19,210	16,437	未達			○		
講習会の開催					→	—	—	危機管理講習会等を開催し、安全管理の推進を図った。		○		
活動区域の見直し		検討			→	—	—	会員の所属区域を越えた作業を検討・試行し効果的な運営を推進した。		○		

平成28年度地域福祉活動計画評価

基本目標2 手と手をつなぐ地域づくり

事業名及び評価項目	年次計画					H28	達成/未達	事業の推進状況	評価			
	H26	H27	H28	H29	H30				完了	継続	見直し	廃止
重点目標① 「ささえあい・たすけあい」で繋がる地域福祉の推進												
展開方針① 地域住民が気軽に参加できる環境をつくり、ささえあい・たすけあい活動の活性化を図ります。												
福祉座談会												
事業推進とニーズ把握					→	—	—	市内14地区で福祉課題の把握及び社会福祉協議会活動への理解促進に努めた。		○		
ふれあいサロン事業												
ふれあいサロン設置数	110	115	120	125	130	122	達成	各種会議等で事業周知に努めるなど開設を推進した。		○		
ふれあいサロンのリーダー育成					→	—	—	ふれあいサロン交流会を開催し、運営リーダーの育成に努めた。		○		
ふれあいサロンの継続的支援					→	—	—	地域に出向き説明するなど事業の周知に努めるとともに相談対応や情報提供により、取り組みやすい環境整備に努めた。 また、地区担当がサロンに出向き、レクリエーションをしたり福祉事業の説明をする講師として活動を支援するなど、繋がりを深め継続的な支援に努めた。		○		
敬老事業												
敬老会開催数	50	50	55	55	60	72	達成	各種会議等で事業周知に努め、敬老意識の高揚に努めた。		○		
敬老祝い品贈呈事業												
敬老祝い品贈呈率	70%	70%	75%	75%	80%	74%	未達	福祉委員の協力を得て事業推進した。引き続き広報紙等で事業周知を図り贈呈率の向上に努めて行く。		○		
被災家屋等復旧費助成金支給事業												
事業の統合	検討		統合			—	—	平成28年度を持って廃止した。	○			
災害見舞金支給事業												
事業実施					→	—	—	市と連携し、情報把握に努め、迅速に見舞金を支給した。		○		
一般募金助成事業												
公募方式の実施	検討				→	—	—	広報紙、ホームページにより平成28年度より団体助成公募を実施し、地区社協を含め39団体から申請があった。 各団体の活動内容等を精査し、平成29年度より段階的に助成の見直しを行う方向で検討をすすめて行く。		○		
歳末たすけあい支援事業												
ニーズ把握					→	—	—	市民児協と連携し、要支援者の把握に努め、支援を行った。		○		

事業名及び評価項目	年次計画						事業の推進状況			評価			
	H26	H27	H28	H29	H30	H28	達成/未達		完了	継続	見直し	廃止	
重点目標② 福祉委員を中心とした小地域福祉ネットワークづくりの推進													
展開方針② 小地域での個別支援の充実・強化を図ります。													
福祉委員活動支援													
福祉委員設置数	680	685	690	695	701	695	達成	福祉委員未設置町内会に出向き説明等により設置に努めた。		○			
小地域福祉ネットワーク活動の推進						→	－	－	民生委員児童委員等との情報交換の場を設け、小地域福祉ネットワーク活動の推進に努めた。		○		
福祉委員の活動支援の推進						→	－	－	ボランティア活動保険への加入、福祉委員証の交付等により活動を支援した。また市の財政的支援を受けた。		○		
重点目標③ 地区社会福祉協議会の健全育成及び連携強化													
展開方針③ 地域福祉課題を解決するための体制をつくります。													
地区社会福祉協議会の活動支援													
全地区への地区社協設置	完了					→			平成26年度に14地区全地区へ地区社協を設置した。	－	－	－	
地区社協会長会の開催						→	－	－	地区社協相互の意見交換の場を設け、小地域福祉活動の活性化に努めた。		○		
ご近所見守りネット事業の推進						→	－	－	小地域福祉ネットワーク活動を推進するために、福祉委員を含む地区社協構成員が、定期的に集まる機会をつくり、地域の実状に合った見守り活動を推進した。		○		
生活支援体制整備事業						→	－	－	平成29年4月から施行される介護予防・日常生活支援総合事業の体制を整備するため、市内14地区の地区社会福祉協議会へ「第2層協議体」を設置し、互助を基本とした地域の支え合いの体制づくりの充実を図った。		○		
重点目標④ 更なる賛助会員制度の普及と会員加入の促進													
展開方針④ 市民参加による福祉事業の維持充実とささえあい・たすけあいの心の高揚を図ります。													
賛助会員制度													
普通会員数	6,800	6,850	6,700	6,800	6,850	6,727	達成	事業周知等により社会福祉協議会への理解促進を図るとともに、未納町内会に出向き会費制度の普及に努めた。		○			

平成28年度地域福祉活動計画評価

基本目標3 地域を支える環境づくり

事業名及び評価項目	年次計画					事業の推進状況			評価			
	H26	H27	H28	H29	H30	H28	達成/未達		完了	継続	見直し	廃止
重点目標① 福祉に関する広報啓発活動の推進												
展開方針① 福祉に関する情報発信及び啓発を図ります。												
企画広報事業												
情報提供の推進					→	-	-	広報紙やホームページ、ケーブルテレビの活用により情報発信に努めた。また、より手に取ってもらいやすい広報紙になるよう、レイアウトの変更や新たなコーナーとして、地域福祉推進のため活躍されている市民の紹介ページを設けた。		○		
重点目標② 利用者しやすい窓口体制の整備												
展開方針① 地域住民が気軽に相談できる体制をつくります。												
ふれあい相談事業												
相談体制の整備					→	-	-	職員による随時相談に応じる体制により、市等の各相談窓口と連携し必要な支援等を行った。		○		
福祉資金貸付事業												
相談体制の整備					→	-	-	市等関係機関と連携し、迅速な相談対応に努め、借受者の自立支援及び償還指導を行った。生計困難者へ緊急対応による貸付を行った。		○		
生活福祉資金貸付事業												
相談体制の整備					→	-	-	民生委員児童委員協議会等の関係機関と連携し、迅速な相談対応に努め、借受者の自立支援及び償還指導を行った。		○		
日常生活自立支援事業												
利用実人数	11	12	13	14	15	14	達成	地域包括支援センター等関係機関と連携するとともに職員等が各種研修会に参加することにより相談援助技術の向上に努めた。		○		
高梁市生活あんしんサポートセンター												
相談体制の整備					→	19	-	相談者が抱える課題を把握し、他制度・他機関へつなぎを含めて、自立に向けた計画を立て支援を行った。		○		

平成28年度地域福祉活動計画評価

基本目標4 安心して暮らせる体制づくり

事業名及び評価項目	年次計画						H28	達成/未達	事業の推進状況	評価			
	H26	H27	H28	H29	H30	H28				完了	継続	見直し	廃止
重点目標① 利用者本位の福祉サービスや制度の充実強化													
展開方針① 福祉サービスや制度の利用促進を図ります。													
高梁市福祉移送サービス事業													
延利用者数	4,350	4,500	4,650	4,800	4,950	5,283	達成	在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所等関係機関と連携し、外出支援による在宅での生活安定に努めた。		○			
運転ボランティア数	70	70	70	70	70	67	未達	運転ボランティアの確保と育成に努めた。		○			
サービスの平準化と合理的な運行管理	検討					→	—	—	管理システムの導入により車両運行の効率化、事務の省力化及び一元的な運行管理に努めた。		○		
専門研修の開催						→	—	—	安全運転に関する研修等により運転技術の向上を図り、安全運行に努めた。		○		
高梁市給食サービス事業													
延配食数	28,000	29,000	30,000	31,000	32,000	31,450	達成	既存団体の協力を得るなど関係機関との連携により、ボランティアの組織化に努め、宅配時の見守り及び食生活の安定等を図った。 また、配食ボランティア代表者会議を開催しボランティア活動の活性化を図った。 利用者の口座振替を推進するため、チラシを口座振替を優先とする記述に変更した。		○			
年間利用実人数	330	340	350	360	370	343	未達			○			
配食ボランティア数	530	535	540	545	550	571	達成			○			
市内一体的なサービス提供	検討					→	—	—	未実施地区の解消を図るため、落合町福地地区、原田地区へ出向き事業の説明をするとともに、配食ボランティアの協力をお願いした。		○		
高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業													
利用実人数	170	175	180	185	190	221	達成	居宅介護支援事業所等関係機関と連携し、利用者への周知に努めた。		○			
高梁市健やか高齢者生きがい支援事業													
生きがい(対策)デイサービス年間利用延人数	2,650	2,675	2,600	2,600	2,600	2,630	達成	新規利用者の減少と現行利用者の介護保険への移行等により計画目標未達。平成28年度より高梁ミニデイは愛称を友遊会としイメージを刷新。介護保険サービスを利用しない要支援者の利用が可能となるなど利用者の拡大を図っている。		○			
ミニデイサービス年間利用延人数	3,100	3,125	3,000	3,000	3,000	2,681	未達			○			
ちょこっとお助けサービス事業													
利用実人数	16	18	40	42	44	42	達成	各種会合等で事業周知に努めた。		○			
高梁市生活管理指導員派遣事業													
延利用時間	1,200	1,250	540	400	400	377	未達	実利用者が年々減少しており、H28年度をもって事業を廃止した。				○	

事業名及び評価項目	年次計画								評価			
	H26	H27	H28	H29	H30	H28	達成/未達	事業の推進状況	完了	継続	見直し	廃止
重点目標② 介護職員の資質を高め専門性を発揮したより充実した介護サービスの提供												
展開方針② 介護サービス事業の充実を図ります。												
居宅介護支援事業												
居宅介護支援利用延数(年)	3,590	3,540	3,150	3,150	3,150	3,105	未達	ケアマネは8名在籍し川上・備中では主任介護支援専門員を配置した特定事業所として運営している。介護予防支援利用者の減少は要介護へ移行されたため。		○		
介護予防支援利用延数(年)	380	380	390	390	390	271	未達			○		
訪問介護事業												
介護サービス利用延回数(年)	9,920	9,790	7,800	7,800	7,800	7,813	達成	在宅から施設入所、また退院から直ぐに施設入所となるケースが増加しているため、新規利用も長続しないケースが多い。市周辺部では必要性は大きい。待機者がいる状態である。ヘルパー不足も加わって非効率な訪問状況となっており目標は未達。介護予防サービスは総合事業への移行により、訪問介護の件数は減少していく傾向と思われる。		○		
介護予防サービス利用延回数(年)	4,190	4,120	3,400	3,400	3,400	2,174	未達			○		
障害者居宅介護サービス利用延回数(年)	1,020	1,070	860	860	860	1,227	達成			○		
障害者移動支援利用延回数(年)	4	4	12	12	12	0	未達			○		
訪問入浴介護事業												
介護サービス利用延回数	980	800	450	450	450	356	未達	新規利用者はターミナルの方が多く、短期間でサービスが終了する。また、施設入所や入院等により利用者は減少した。		○		
通所介護事業												
介護サービス利用延回数	7,030	6,920	7,410	7,400	7,400	7,714	達成	介護予防は要介護へ移行のため減少。平成29年度は総合事業へ移行のため、減少する事も予測される。		○		
介護予防サービス利用延回数	1,690	1,660	1,590	1,500	1,500	1,067	未達			○		
認知症対応型共同生活介護事業												
利用者数(1ユニット)	9	9	9	9	9	9	達成	地域との連携を深め、温かみのある家庭的な暮らしを目標としたグループホームを目指しており、定員9名の利用者確保を維持している。また、入所待機者もある。		○		